

早池峰山地域活動報告

令和6年度遠野支署職員が早池峰山周辺で行った活動について報告します。

①早池峰山植生保護柵設置

令和6年5月23日(木)に早池峰総合休憩所をAM9時40分ころに出発し、設置場所まで約1時間30分ほどかけて到着しました。冬期間に積雪や風で飛ばされないように格納していたネットを支署職員11名で設置を行い、快晴であったため作業がスムーズに進み、3箇所250mの設置を1時間程度で終わりました。



②令和6年度早池峰山地域移入種植物駆除

令和6年6月7日(金)に支署職員4名で外来種駆除活動に参加しました。高山植物の保護を目的として、早池峰山河原の坊登山口から小田越登山口周辺及び紫波江繫線(県道25号線)沿いの区間で移入種植物であるセイヨウタンポポ、オオバコの駆除作業を行いました。

毎年行っているのにセイヨウタンポポは少なくなっているように思いましたが、オオバコは、駐車場周辺に多く生息して、根っこが残らないように、ゆっくり引っこ抜くのが大変でした。

参加者29名で、約8.8kgの回収成果がありました。



③令和6年度早池峰山地域高山植物盗採防止合同パトロール

令和6年7月13日(土)に支署職員3名で合同パトロールに参加しました。早池峰班と薬師岳班に分かれ、生息する高山植物の植生や、切り取り・掘削等の状況調査、野生動植物による高山植物の踏み付けや食害等の状況調査を行いました。支署3名は、薬師岳班で、シカの糞を確認しながら、更には過去に盗採があったのではないかとこの箇所について、山頂において報告・意見交換を行いました。

これからも早池峰周辺の希少な高山植物の保護に向け、採取・損傷等行為の未然防止のため、パトロールは継続し参加していきます。



④令和6年度早池峰クリーン&グリーンキャンペーン(移入種駆除)

令和6年8月10日(土)に支署職員3名で、移入種駆除作業に参加しました。岳駐車場から笠詰キャンプ場までの区間に自生したオオハンゴウソウを種ができる前に駆除するという活動で、黄色い花が咲いていればすぐにわかりますが、キャンプ場内は、芽生えた葉が多く、判別するまでに、時間がかかり大変な作業でした。

参加者は、42名で、約36kgの回収成果がありました。



⑤森林保護員(愛称:グリーン・サポート・スタッフ)

令和6年度は、2名体制で早池峰山、薬師岳周辺の巡視を行い、登山者へのマナーの啓発、1カに1回を目安に植生保護柵の点検・補修、また、ニホンジカを目撃情報の収集活動などを行いました。



⑥早池峰山植生保護柵設置格納

令和6年10月18日(金)に職員4名で冬期間の積雪などによるネットの損傷を防ぐため、格納作業を行いました。

当日は、霧がかかり、寒くて手がかじかむ中での作業でした。

ニホンジカによる食害から希少な高山植物を保護するため、ヒメコザクラなど希少植物が消滅しないように、春に設置、維持、秋に格納と大変な作業になりますが、今後も引き続き行って参ります。



以上が1年間の報告となります。

-----メモ-----

○外来生物被害予防3原則……入れない・捨てない・広げない

オオハングウソウは、外来生物法で「特定外来種」に指定されており、栽培や生きたままの植物の運搬は禁止されています。

○登山のマナーを守ってください。とるのは「写真だけ」、残すのは「足跡だけ」、持ち帰るのは「ゴミだけ」です。

○令和6年度県道25号(紫波江繋線)の通行止め期間は、令和6年11月6日(水)AM11:00～令和7年5月16日(金)AM11:00までです。

森林技術指導官 尾留川